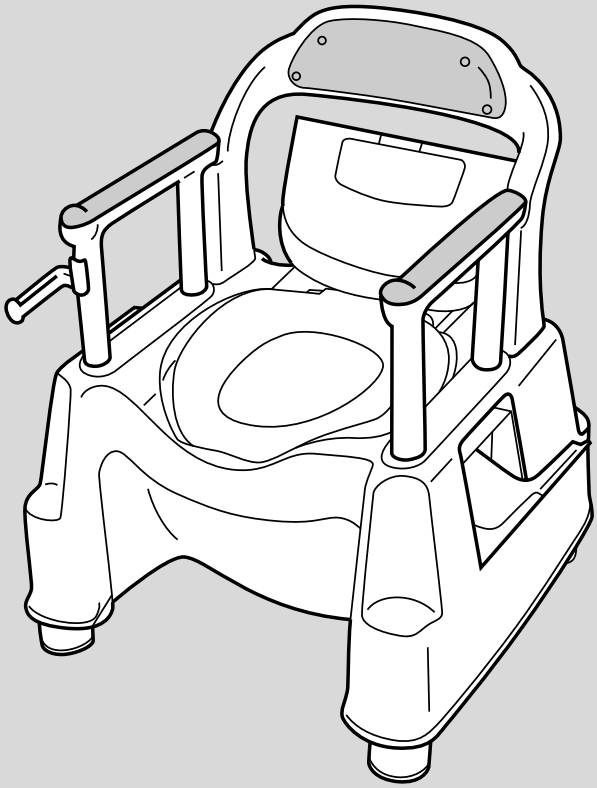
安寿（あんじゅ）

大切にしたい。
自立への気持ちと思いやり。

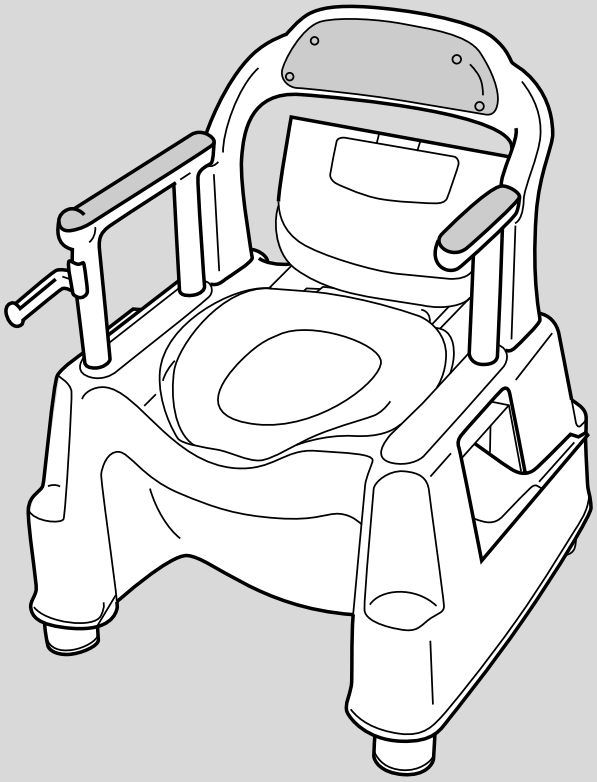
ポータブルトイレ
FX-1/FX-2
取扱説明書

最大使用者体重：100kg以下

このたびはポータブルトイレFXをお求めいただきまして、
まことにありがとうございます。
正しくお使いいただくため、
ご使用前に必ずお読みください。
なお、この取扱説明書は大切に保管してください。



ポータブルトイレFX-1



ポータブルトイレFX-2 短ひじタイプ

もくじ

安全上のご注意	1
各部のなまえ・特長	2
使いかた	3~4
お手入れの方法	5

ARONKASEI CO.,LTD.

安全上のご注意 （必ずお守りください）

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
⚠注意	誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。

してはいけない「禁止」内容を説明しています。

⚠ 注意

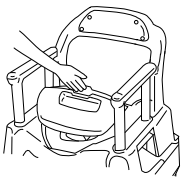
改造や分解をしないこと
本体が正常にはたらかず、けがの原因になります。

背もたれやひじ掛けがしっかり固定されているか確認すること
身体が不安定な状態となり、けがの原因になります。

補高用脚が 4 本とも本体が安定するように高さ設定されているか確認すること
補高用脚を固定ナットでしっかり止めているか確認すること
転倒し、けがの原因になります。

使用者の身体状況によっては、介助者が付き添ったり、お買い上げの販売店かケアマネジャーなど専門家に相談すること

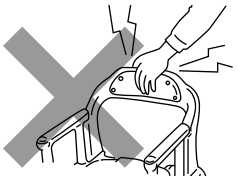
上蓋の開閉のときは、必ず持手部を持って行うこと
別の部分を持って行なうと指をはさむ原因になります。



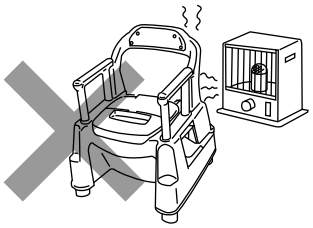
必ず平たんな場所で使うこと

上蓋の上に座ったり立ったりしないこと
蓋が割れたり、けがの原因になります。

背もたれを手すりがわりに持たないこと
転倒し、けがの原因になります。



直射日光が当たる場所や火気に近づけないこと
火災や変形の原因になります。



本体と補高用脚のすきまに足を置いた状態で立ち上がらないこと
転倒し、けがの原因になります。

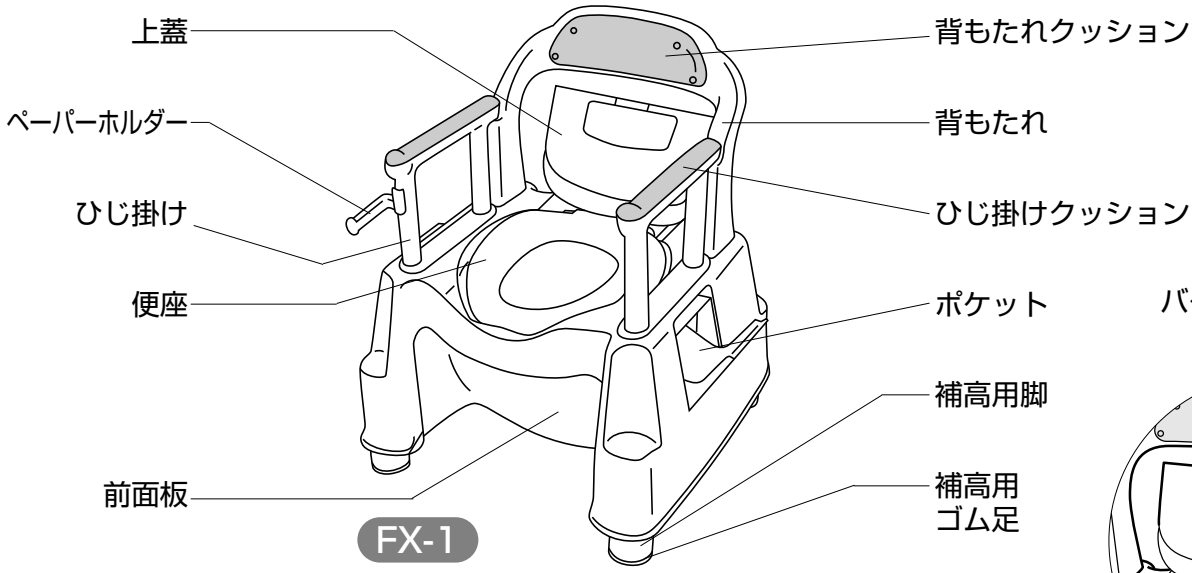
子供・幼児を遊ばせる等、他の用途では使用しないこと

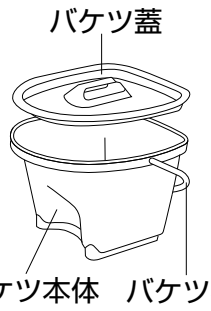
体重が100kgを超える方は使用しないこと
本体が破損する恐れがあります。

バケツの中に水や汚物を入れたまま、本体を移動させないこと
内容物がこぼれ、服や床などを汚す恐れがあります。

お手入れの際は、タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと
プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。

各部のなまえ





■部材・付属品

共通

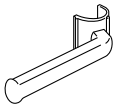
●本体１台

●ひじ掛け穴カバー１個

●背もたれ固定
ピン２個

●背もたれ１個

●O型便座カバー１枚


●防臭消耗品

●ペーパーホルダー１個

※暖房便座タイプには便座カバーはついていません。

FX-1

●ひじ掛け
２個

●ひじ掛け固定ピン
２個

FX-2

●ひじ掛け
１個

●短ひじ掛け
１個

●ひじ掛け固定ピン
２個

■仕様

品名	ポータブルトイレＦＸ-１、FX-2	
材質	本体・上蓋・便座 バケツ・ひじ掛け 背もたれ ペーパーホルダー	ポリプロピレン
	ひじ掛けクッション 背もたれクッション	EVA
	補高用脚	ポリエチレン
	補高用 ゴム足	スチレン系エラストマー
寸法	67×64×高さ77～82㎝ （便座までの高さ：38～43㎝）	
重量	約10.5㎏	
バケツ容量	10ℓ	

廃棄上のご注意 おすまいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。

特長

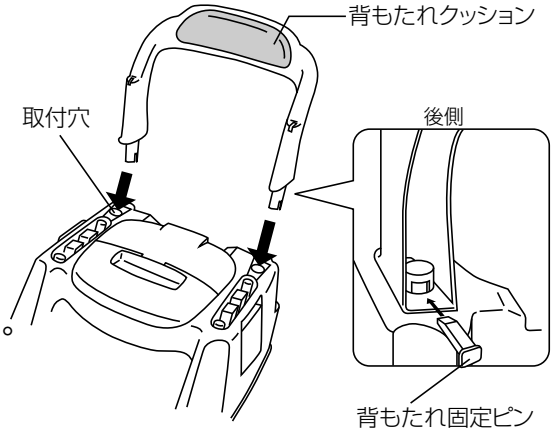
●便座までの高さを症状・体形に合わせ38～43㎝に調節できます。
●バケツの下に汚水受けを設けた二重構造なので、飛散した小水を便器外に漏らしません。
●本体前面に足を引けるスペースがあり、立ちやすくなっています。
●広くて段差のない座面ですから、ひじ掛けを外せば横からの移乗も可能。ひじ掛けは上部からのネジ止め式で、着脱がとても簡単です。
●背もたれは、脱着式なので収納時に便利です。
●便座は尾てい骨があたらずお尻にかかる負担を軽減した形状です。
●上蓋は、手首を返すことなく開閉できるユニバーサル構造の折りたたみ式。便座はゆっくり閉まるオイルダンパーを採用しています。
●上蓋・便座は簡単に着脱ができ、お手入れの時も外して洗えるのでとても衛生的です。
●ペーパーホルダーはひじ掛けの支柱にお好みの角度で取り付けることができます。
●FX-2は短ひじタイプなので、ひじ掛けをつけたままで横からの移乗ができます。

使いかた

組立て方法

1 背もたれを固定する

①背もたれクッションのある方を前面にして取付穴にはめ込みます。
②背もたれの両支柱の後側から背もたれ固定ピンで、左右2ヵ所しっかり固定します。
※背もたれを取りはずす場合は、逆の手順で行ってください。

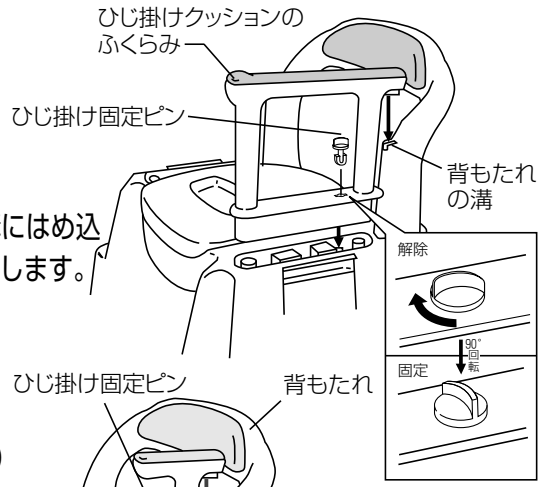


⚠ 注意
背もたれ固定ピンで背もたれを必ず固定すること
背もたれが外れ、不安定になり、けがの原因になります。

2 ひじ掛けを固定する

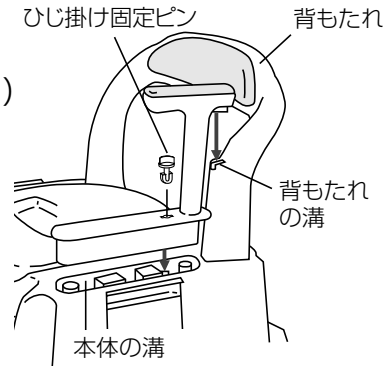
共通

ひじ掛けクッションのふくらみのある方を前面にして、本体と背もたれの溝にはめ込みます。ひじ掛けの穴にひじ掛け固定ピンを差し込み、90°回転させて固定します。



FX-2 短ひじ掛けの場合

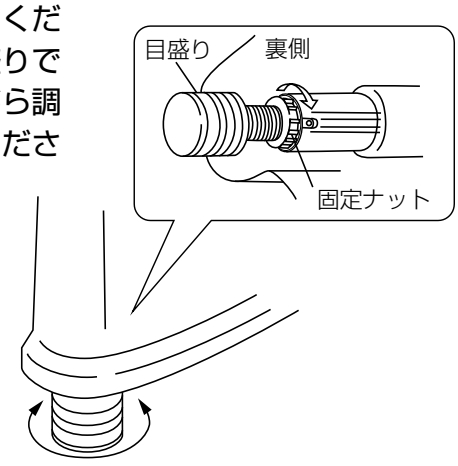
短ひじ掛けの後側を右図のように背もたれ側にして、本体と背もたれにある溝にはめ込みます。ひじ掛けの穴にひじ掛け固定ピンを差し込み、90°回転させて固定します。(短ひじ掛けは、左右どちらでも取り付け出来ます。)



⚠ 注意
ひじ掛けはひじ掛け固定ピンで必ず固定すること
ひじ掛けが外れ、不安定になり、けがの原因になります。

3 高さの調節をする

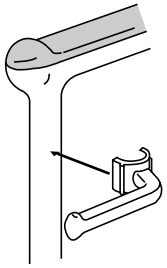
必要に応じて4本の補高用脚をそれぞれ左に回して高さを調節してください。まず本体裏側の固定ナットをゆるめ、3本の補高用脚を目盛りで調節し、残りの1本はトイレを使用する場所で安定感を確認しながら調節します。補高用脚は本体裏側から固定ナットでしっかり止めてください。(便座までの高さ：38㎝～43㎝)
※補高用脚には1㎝ごとに目盛りがついていますので、脚の高さをそろえる目安にしてください。



⚠ 注意
補高用脚は本体が安定する高さに固定され、固定ナットでしっかり止められているか確認すること
転倒し、けがの原因になります。

4 ペーパーホルダーをつける

ペーパーホルダーはひじ掛けの支柱にお好みの角度で取り付けることができます。
使いやすい位置に取り付けて、トイレットペーパーをセットしてください。
※ペーパーホルダーにはトイレットペーパー以外のものは掛けないでください。



使いかた

前準備

●付属の便座カバーをつける
（上蓋にはカバーをかけないでください）
●防臭効果を高めるために
バケツに水を約２ℓ（バケツ内側の２と表示してある線まで）入れ、付属の防臭消耗品を入れてください。ポータブルトイレ用防臭剤や防臭液、防臭錠、消臭剤フォームタイプもご使用いただけます。（別売品）

※便器に座る前に用便されてしまう場合もあります。
あらかじめポータブルトイレ用消臭・防水シート（別売品）を敷いておくと、よりお部屋の清潔さが保たれ安心です。

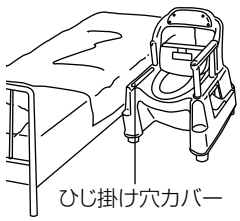
使用方法

上蓋を開け、バケツの蓋をはずして使用します。
※バケツ内へは、ティッシュペーパーなどトイレットペーパー以外のものは入れないこと。
トイレで処理する際、詰まる原因になります。

使用後の処理方法

●汚物の処理について
ポータブルトイレからバケツを取りだして、汚物をトイレに流してください。

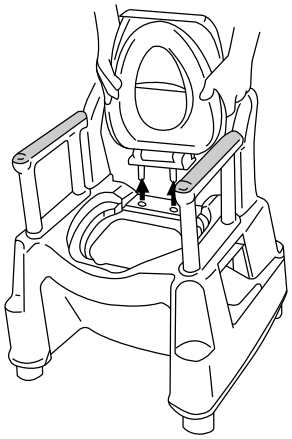
FX-1でベッド等から移乗する場合。
ベッド側のひじ掛けをはずし、その位置にひじ掛け穴カバーを取り付けてお使いください。尚、移乗後、上体の安定を保ちたい場合は、ひじ掛け穴カバーを外し組立て方法の２にしたがい、ひじ掛けを固定してください。
※ひじ掛けは、どちらか片方を必ず取り付けてお使いください。



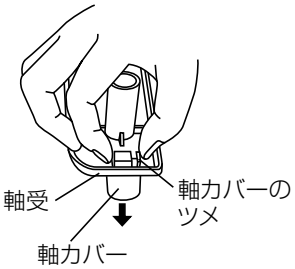
上蓋、便座の分解・組立て方法

●お手入れや便座の取りかえを行う時

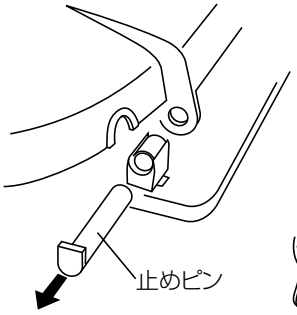
1 上蓋・便座を本体からはずす



2 軸受裏の軸カバーのツメをつまみながら、軸カバーをはずす

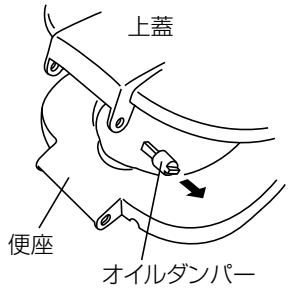


3 止めピンをぬき、上蓋・便座を軸受けからはずす



4 最後に上蓋の軸穴からオイルダンパーをぬき、上蓋と便座を分解する

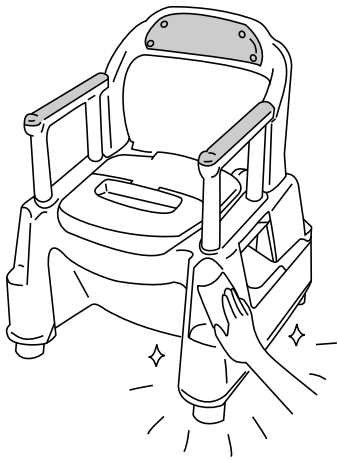
（オイルダンパーが軸受に残った時は、4の作業はいりません）
※組立てる場合は、4から逆の手順で行って下さい。



お手入れの方法

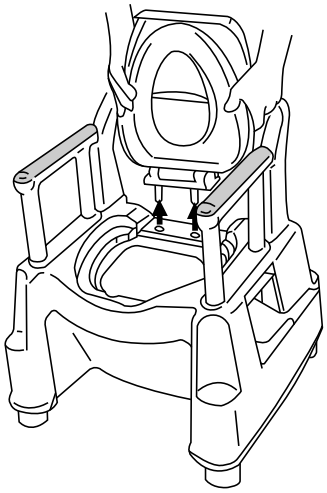
1 普段のお手入れは

いつまでも気持ちよくお使いいただくために、小マメに汚れを落としてください。
汚れはスポンジかやわらかい布に、住居用洗剤（弱アルカリ性・中性）をふくませてふきとってください。



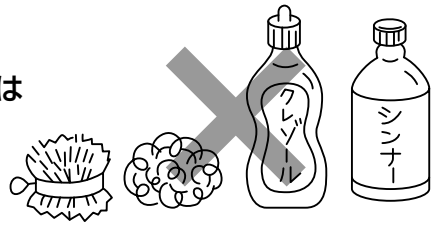
2 少しひどい汚れには

上蓋・便座は本体からはずせるので、すみずみまできれいにお手入れができます。ひどい汚れをふきとる場合は、布等に市販の消毒用アルコールをふくませてふきとってください。



注意

※タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
※塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと
プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。



●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります。 10.11

製品に関するご意見・お問い合わせは

お客様相談室

フリーダイヤル **0120-86-7735**

（受付時間）祝祭日以外の月～金 9:00～17:00
（12:00～13:00はのぞく）

アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

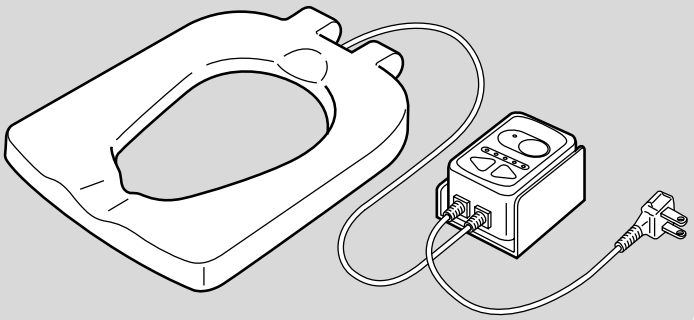
〒141-0022 東京都品川区東五反田1-22-1 五反田ANビル4階 TEL(03)5420-1556
FAX(03)5420-7750

東京支店 ☎(03)5420-1562
大阪支店 ☎(06)6448-5127
名古屋支店 ☎(052)203-0396
福岡支店 ☎(092)741-1411
仙台支店 ☎(022)291-5477
広島支店 ☎(082)245-7100
札幌営業所 ☎(011)709-6011

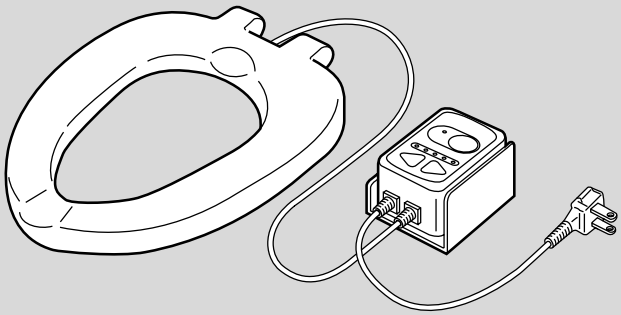
910105-1

暖房便座取扱説明書

●ポータブルトイレ用

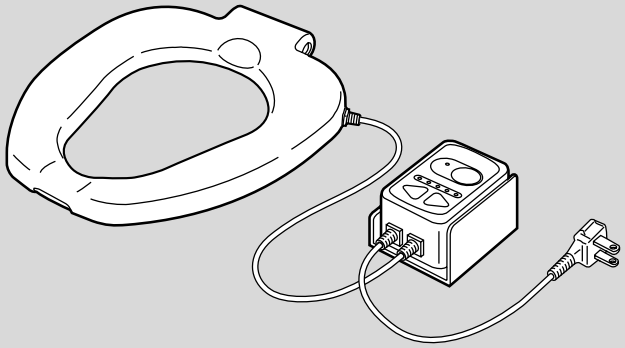


KX暖房便座



FX暖房便座

●サニタリエース用



このたびは暖房便座付ポータブルトイレ・サニタリエースをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。正しくお使いいただくため、ご使用前に、この暖房便座取扱説明書並びにポータブルトイレ・サニタリエースの取扱説明書を必ずお読みください。
なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意	1~2
各部のなまえ	3
使いかた	4
お手入れの方法	4
故障かな？と思ったら	5

ARONKASEI CO.,LTD.

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
⚠注意	誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

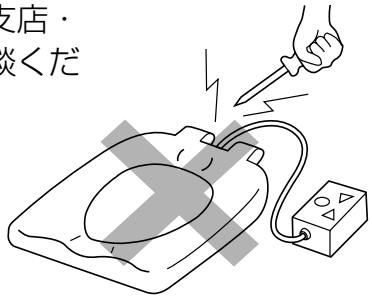
■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

❗ **必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。**

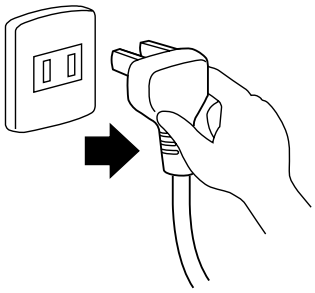
🚫 **してはいけない「禁止」内容を説明しています。**

⚠警告

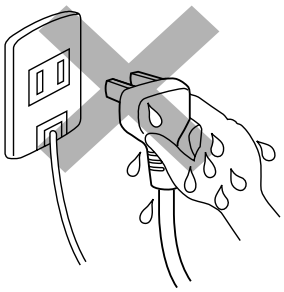
分解・修理・改造は絶対にしないこと
感電や発火の原因になります。分解・修理が必要なときは、お買い求めになったお店か裏面の支店・営業所にご相談ください。



電源プラグを抜くときは、コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜くこと
電源コードが破損し、火災・感電の原因になることがあります。



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いておくこと。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと
感電の恐れがあり大変危険です。

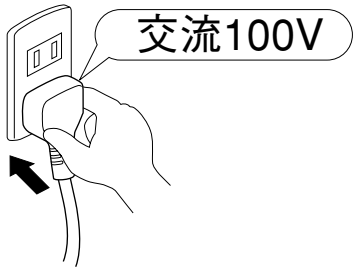


電源プラグの差し込み部分のほこりは取り除くこと
火災の原因になります。

焦げ臭いなど異常がある場合は、すぐ電源プラグを抜くこと
感電や火災の恐れがありますので、お買い上げの販売店または、裏面の支店・営業所にご連絡ください。

電源は配線工事に関する法令・規程に従った「有資格者」による配線工事の電源を使用すること
火災や感電の原因になります。

配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外では使用しないこと
他の器具と併用し、定格を超えると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火の原因になります。

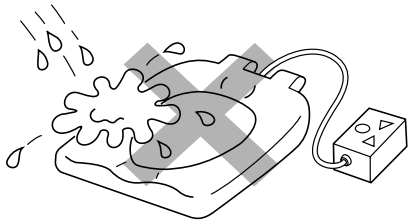


⚠ 警告

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないこと
火災・感電の原因になります。

電源コードや電源プラグを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねて使用したり、重いものを載せたり、はさみ込んだりしないこと
破損して、火災・感電の原因になります。

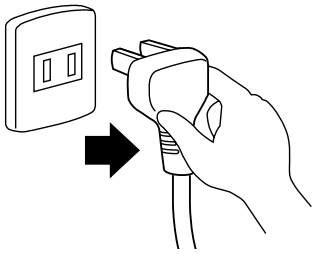
便座・スイッチボックスには水をかけないこと
感電やショートの原因になります。



便座・スイッチボックスは表面に結露を生じるような湿気の多い場所（浴室等）では使用しないこと
感電やショートの原因になります。

⚠ 注意

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておくこと
絶縁劣化により、
火災感電の原因
になります。



使用者が、自分の身体を十分に安定させられない場合は、介助者が必ず付き添うこと

※イラストはポータブル
トイレ使用時です。

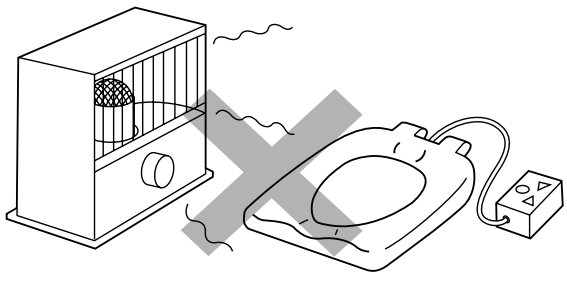
お子様・お年寄り・身体の不自由な人・皮ふ感覚の弱い人などが使用するときは、周囲が十分注意すること
低温やけどをおこすことがあります。
下半身マヒなど温度感覚のない方が暖房便座を長時間ご使用になる時は、スイッチボックスの電源スイッチを「切」にしてご使用ください。

便座を倒すとき、乱暴に扱わないこと
故障の原因になります。

便座や上蓋（座面）の上に、立たないこと
便座や上蓋（座面）が割れたり、けがや故障の原因になります。

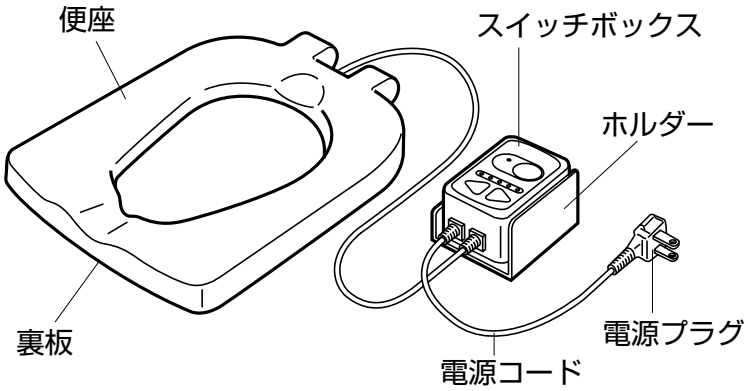
便座カバーはつけずに使用すること

直射日光が当たる場所や火気に近づけないこと
火災や変形の原因になります。



各部のなまえ

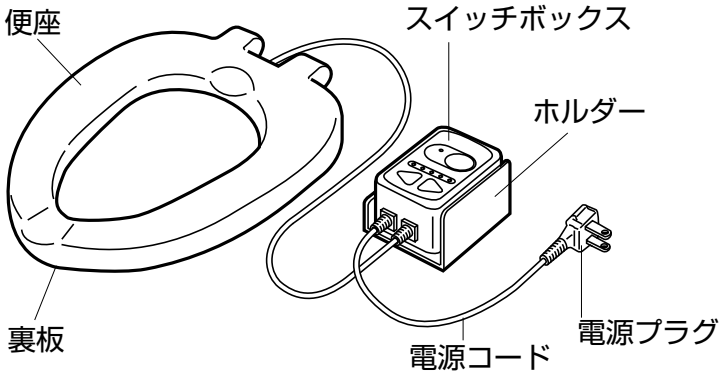
KX暖房便座



■仕様

品　名	KX暖房便座
材　質	便座・裏板：ポリプロピレン スイッチボックス・ホルダー：ABS樹脂
寸　法	435×360×38mm
定　格	交流100V-53W
表面温度	温度調節範囲約30～40℃
発熱体	チュービングヒーター
コード	ビニールコード （長さ本体側約0.9m、電源側約1.6m）
安全装置	温度ヒューズ
重　量	約1.2kg

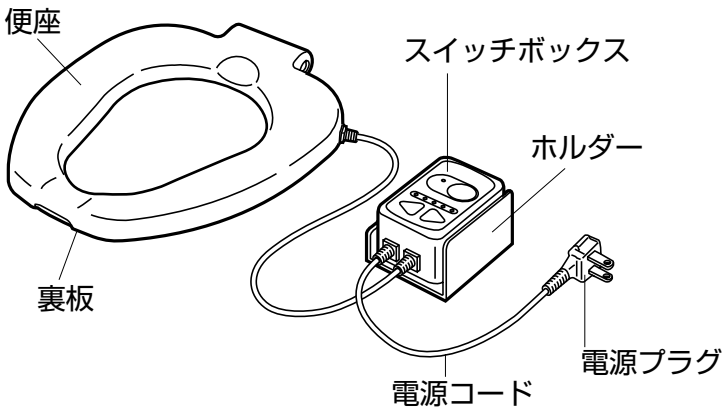
FX暖房便座



■仕様

品　名	FX暖房便座
材　質	便座・裏板：ポリプロピレン スイッチボックス・ホルダー：ABS樹脂
寸　法	435×360×36mm
定　格	交流100V-53W
表面温度	温度調節範囲約30～40℃
発熱体	チュービングヒーター
コード	ビニールコード （長さ本体側約0.9m、電源側約1.6m）
安全装置	温度ヒューズ
重　量	約1.0kg

サニタリエース暖房便座



■仕様

品　名	サニタリエース暖房便座
材　質	便座・裏板：ポリプロピレン スイッチボックス・ホルダー：ABS樹脂
寸　法	436×348×42mm
定　格	交流100V-53W
表面温度	温度調節範囲約30～40℃
発熱体	チュービングヒーター
コード	ビニールコード （長さ本体側約0.9m、電源側約1.6m）
安全装置	温度ヒューズ
重　量	約1.1kg

電気代について

●標準消費電力は、室温10℃・便座温度35℃（便座温度調節ランプの中央点灯）で平均約18Wh。
1日24時間通電した場合、1日当たり約10円。
1ヵ月（30日）当り約360円が目安となります。（1kwh=25円39銭で計算）

便座表面温度について

室温5℃のとき、便座温度調節ランプの左端点灯（最低設定、黄色ランプ点灯）で約30℃、右端点灯（最高設定、赤ランプ点灯）で約40℃となります。

使いかた

組立て方法

●ポータブルトイレの場合

1 ポータブルトイレを組み立てる

①添付のポータブルトイレの取扱説明書に従ってトイレ部を組み立ててください。

2 暖房便座のスイッチボックスを固定する

①スイッチボックスは、ポータブルトイレ本体の左右どちらにでも固定できます。
②ホルダーからスイッチボックスをスライドさせ外し、ホルダーの両面テープ側が、トイレ本体の側面に合うようにします。
③ホルダーの離型紙をはがし、本体の側面にしっかりと固定してください。
この際、本体のポケット、ヒジかけ固定ピンなどの作動のじゃまにならないよう注意してください。
④スイッチボックスをホルダーに差し込んでください。

●サニタリエースの場合

1 サニタリエースを便器へ取りつける

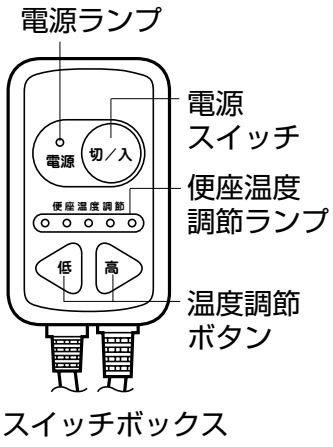
①添付のサニタリエースの取扱説明書に従ってサニタリエースを便器へ取りつけてください。

2 暖房便座のスイッチボックスを固定する

①電源コードが届く範囲の壁面にスイッチボックスの取りつけ位置を決めます。
②ホルダーからスイッチボックスをスライドさせ外し、ホルダーをスイッチボックス取りつけ位置に両面テープで固定してください。
③スイッチボックスをホルダーに差し込んでください。

使用方法

①電源プラグをコンセントに差し込むと、スイッチが入り電源ランプと便座温度調節ランプの中央ランプが点灯します。
②(高)(低)ボタンを押すとランプ表示が切換わり、便座表面の温度調節ができます。
③お好みの温度に調節してください。
※最低約30℃、最高約40℃（室温5℃のとき）の範囲で5段階に調節できます。



⚠注意 **長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておくこと**

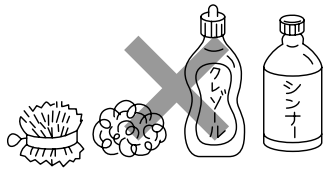
お手入れの方法

●普段のお手入れは

いつまでも気持ちよくお使いいただくために、小マメに汚れを落としてください。
汚れはスポンジかやわらかい布に、住居用洗剤（弱アルカリ性・中性）をふくませてふきとってください。

⚠注意

※便座・スイッチボックスには水をかけないこと
感電やショートの原因になります。
※タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
※塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと
プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。



故障かな？と思ったら

●修理などを依頼される前に、本書をよくお読みの上、次の点をお調べください。

こんなとき	調べるところ
電源スイッチを押しても ランプが点灯しない	電源プラグが確実に差し込まれていますか？
便座があたたかくない	電源が 「切」 になっていませんか？
	設定温度が低くなっていませんか？
便座があつい	設定温度が高くなっていませんか？
電源ランプが点滅し、 便座面があたたかくない	自動回路遮断が働きました。販売店に相談してください。

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります。 10.11

製品に関するご意見・お問い合わせは

お客様相談室

フリーダイヤル 0120-86-7735

（受付時間）祝祭日以外の月～金 9:00～17:00
（12:00～13:00はのぞく）

アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒141-0022 東京都品川区東五反田1-22-1 五反田ANビル4階 TEL(03)5420-1556
FAX(03)5420-7750

東京支店 ☎(03)5420-1562
大阪支店 ☎(06)6448-5127
名古屋支店 ☎(052)203-0396
福岡支店 ☎(092)741-1411
仙台支店 ☎(022)291-5477
広島支店 ☎(082)245-7100
札幌営業所 ☎(011)709-6011

910555-1